

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 026	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 近年のイチゴ萎黄病の発生の原因解明と防除対策	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 約5年ほど前から、県内のイチゴ栽培で、かつて猛威を奮っていた病害であるイチゴ萎黄病の発生が現地 問題となっている。特に、‘さちのか’ ‘とちおとめ’などの品種を中心に病害が拡大している。生産現場で の被害拡大を防ぐため、近年拡大している原因（病原菌の変異等）を明らかにし、防除対策を提示願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 病害虫の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立	
対応の内容等 本病多発要因として「病原菌の変異等」を検討する旨の要望ですが、仮に病原菌の変異等が明らかになったとしても、現在栽培されているイチゴ主要品種の多くが本病に対して罹病性であるため、品種選択の余地は乏しいと言わざるをえません。現状、定植直後の9月中下旬に本病の発病が多いことから推測すると、病原菌はすでに育苗期までに感染しているものと考えられます。近年、イチゴ萎黄病菌検出用プライマーが報告されましたので、これを用い、育苗中の感染経路について現地調査を行い、防除対策を検討したいと考えております。ご協力をお願いいたします。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	